

学校名	所沢市立中央中学校
所在地	所沢市並木6丁目3
電話	04-2995-2795

1 本校の概要

本校は、並木小学校、若松小学校、中央小学校、中富小学校の4つの小学校から子どもたちを迎え、現在413名の生徒が在籍する中規模校である。

未来を切り拓く生徒を育成し、「生徒会憲章」の実現を目指し、特色ある学校づくりを推進している。

2 本校の実践

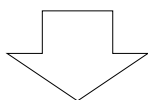
(1) 実践の視点

- ・本校では、毎朝8分間の「朝読書」と給食配膳時に読書の時間が確保されている。
- ・学校司書は、図書館で昼休みや放課後に、調べ学習のサポートや本の紹介・貸出しを率先して行っている。
- ・今年度より、図書委員会の生徒が主体となって、全校「ビブリオバトル」(知的書評合戦)の取組を実践し、第一回目の足跡を残すことができた。

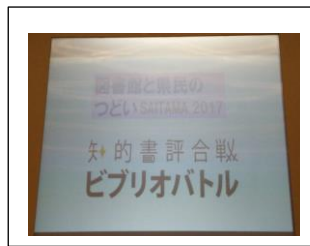
(2) 実践の概要

ア【図書委員会の全校「ビブリオバトル」】は、有志が自分の好きな本をA4プリントにまとめ、図書委員だよりで紹介し、読んでみたい本に全校生徒が投票して「チャンプ本」を選ぶという中央中学校独自の方法で実践した。

イ【優勝した2年生女子生徒】が次のステップへのチャレンジとして・・・本物の「ビブリオバトル」に参加した。



<p>「図書館と県民のつどい埼玉 2017」 平成29年12月17日(日) 桶川市民ホール・さいたま文学館 中学生・高校生 による「ビブリオバトル」(知的書評合戦)</p>
--



ウ【公式ルール】<県立熊谷図書館>

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
2. 順番に一人5分間で本を紹介する。
3. それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを行う。
4. 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

3 成果と課題

(1) 成果

- ア 生徒が「ビブリオバトル」を知ったことで、読書活動の幅が広がった。
- イ ビブリオバトル 予選会 チャンプ本(優勝)
- ウ 図書館と県民のつどい埼玉 2017
中学生・高校生による「ビブリオバトル」
県大会出場(中学生・高校生各3人)

(2) 課題

- ア 学校の取組として「ビブリオバトル」を定着させて、中央中学校の読書活動を更に充実させていきたい。
- イ 聴き手に対して共感させることのできる表現を生かした発表の仕方と効果的な発表構成(1分・3分・1分)を考え、聴かせる「ビブリオバトル」として生徒に取り組みせたい。

(3) おわりに

チャレンジしなければ新たな発見や体感等はない。教員も情報アンテナを高くして、生徒に多くの選択肢を提案する読書活動を推進していきたい。ようするに「意志あるところに道は開ける。」

～Where there's a will, there's a way.～